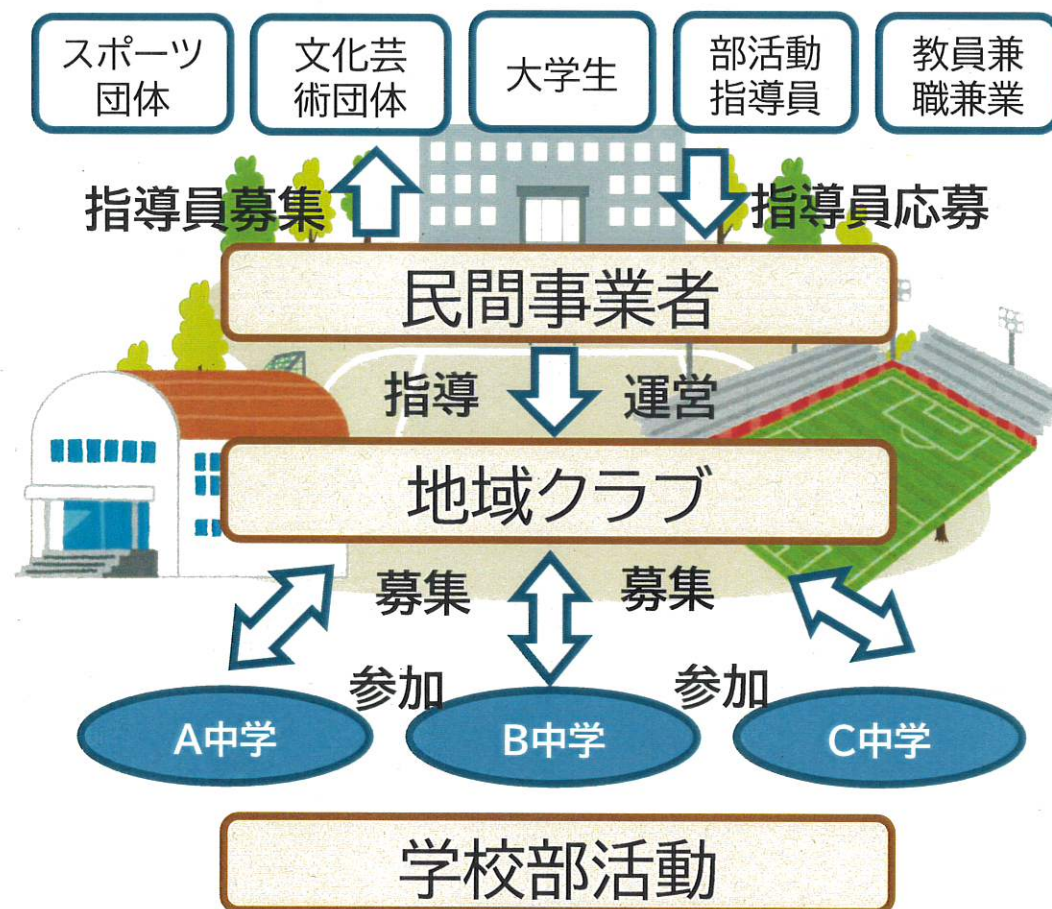


部活動の地域移行(民間モデル)



<地域クラブの種目>

- 地域のニーズによる種目
- だれでも参加できる種目
- クラブが設置した種目

<指導者の確保>

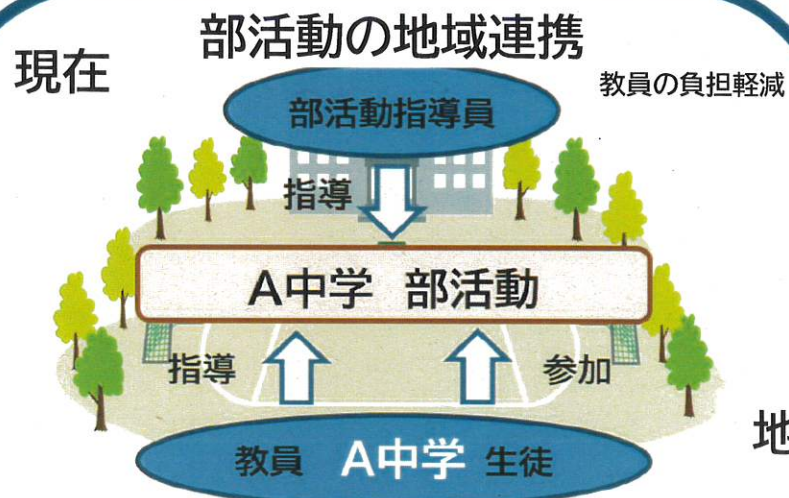
- 受注者が人材を探す
- 教員・部活動指導員を積極的に活用

<活動場所の確保>

- 学校施設が借りられる場合は学校で実施
- 地域の利用可能な施設の開拓

<学校部活動>

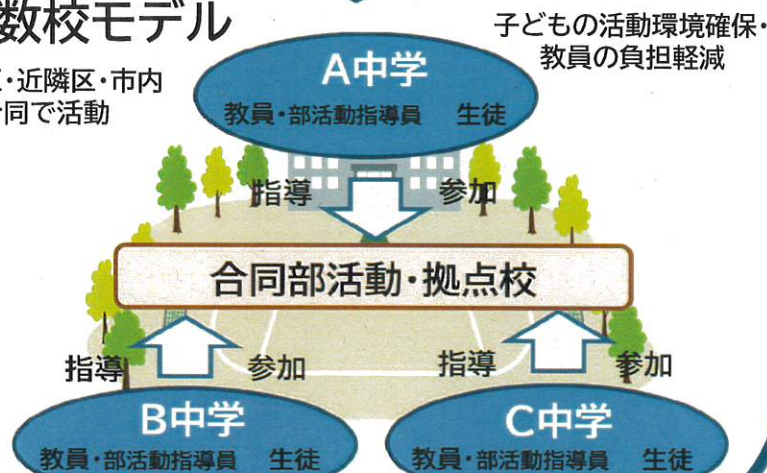
- 学校部活動顧問との連携・協力



単独校モデル

複数校モデル

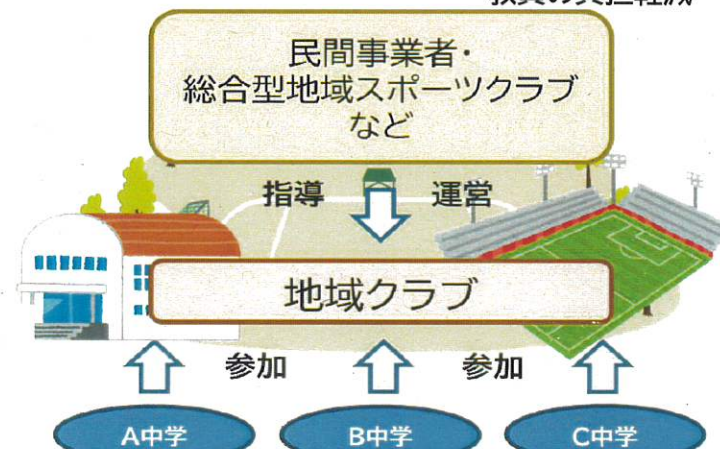
各区・近隣区・市内
で合同で活動



地域クラブへ移行

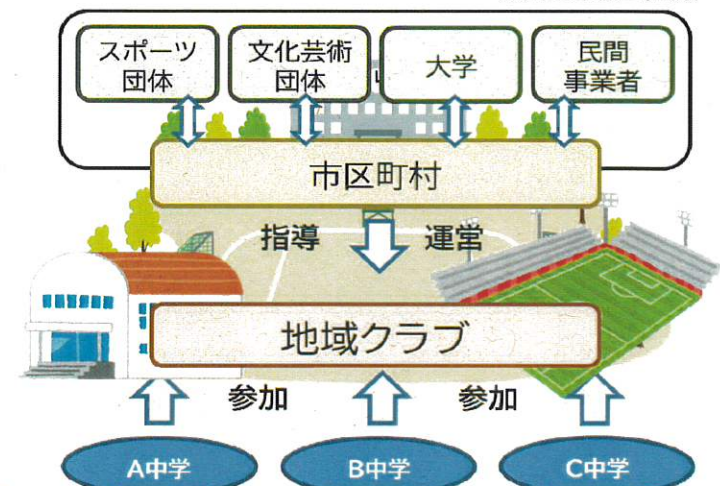
民間モデル

子どもの活動環境確保・
教員の負担軽減



行政モデル

子どもの活動環境確保・
教員の負担軽減



- 運営の基盤をつくる
- 大阪市にあったモデルを模索する
- 現部活動から新しいスポーツ・文化芸術活動の場を作るにあたっての課題点の洗い出し



R8 本市の現状と国の動向を注視し進めていく

部活動指導員の拡充、拠点校と地域移行

- 大阪市では、部活動の地域連携・地域移行について、可能な限り全市に広めていきます
 - 部活動指導員を拡充します
 - 区内で拠点をつくり、子どもたちの選択肢を増やします
 - 民間事業者やスポーツ団体、区独自による運営、また、教育委員会が部活動指導員を派遣するクラブ運営など、様々な形で地域移行の実現をめざします

民間事業者による新しい地域クラブ活動の運営の提案が
未来の子どもたちのスポーツ・文化芸術活動の環境をつくれます

一緒につくっていきましょう！

